

次の文章を読んであとの設問に答えなさい。

PR業務には、メディアとの連動が欠かせません。PRはまずメディアに向けて「プレスリリース」という形で情報を発信し、その情報をメディアの手でニュースとして人々に伝えてもらうのです。つまり、メディアがもつテコのように利用するのがPRによる情報伝達の手法です。当然、まず大切になるのは「効果的なプレスリリースを、どうやって書くか？」ということですが、特に、タイトルは重要です。基本として大切なことは、まず「5W1H」を的確に伝えることです。これはプレスリリースにかぎらず、すべての文字情報の基本とも言えることでもあります。文章を書くという行為は、誰にとっても「すでに頭の中にあることを文字化すること」です。つまり、書いている本人にとっては、すでにわかっていること。これを、その情報はまだ知らない人に向けて文字化する際には、必要な事柄をつい書き漏らしてしまうことがよくあるのです。つまり「5W1Hを正確に伝えていない」という基本的ミスは、誰もが犯してしまう危険をもつものですが、そのミスを防ぐための心構えがあります。それは、「この情報を知ってもらいたい！」という根本的な目的意識を強く持ち続けることです。プレスリリースは、メディアに向けての提案書です。私は「この情報があなただけの書き手に役立つと思う。読者や視聴者のためになると思う」と、いつも強く思いながらプレスリリースを作成していきます。そして「いちばん大切な情報は何か」をつねに念頭に置いていきます。また、プレスリリースという特定の目的をもつ文章を書く上では、5W1Hに加えて「YTT」という要素も重要となります。Y昨日、T今日、T明日という時間軸に沿って情報の価値を表現することが求められます。つまり「情報の物語」を簡潔に伝える必要があるのです。間違いなく人類に利便性を提供する新商品の発売という情報を発信するのなら、その商品の性能という現在の価値だけだけでなく、それが存在しなかった過去はいかに不便だったか、さらにその商品が普及した未来がどれほど快適になるかを表現するのが、社会にとつての商品価値は、このYTTを抜きにしては決して決められません。

※作問の都合上、改編・省略した箇所があります。（殿村美樹『ブームをつくる人がみずから動く仕組み』より）

語注 ・PR：企業体・官公庁などが、それらが公共の利益のための存在であることを広く大衆に知らせる宣伝。

・メディア：媒体（仲立ちをするもの）・手段。特に、新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどの媒体。

・プレスリリース：報道機関に向けた、情報の提供・告知・発表のこと。

・5W1H：「いつ・どこで・だれが・なにを・なぜ・どのように」という情報伝達のポイントのこと。

・YTT：Y (Yesterday) / T (Today) / T (Tomorrow) 英語の「昨日、今日、明日」の頭文字。

《設問》

問一 この文章は、「プレスリリースの『5W1H』と『YTT』の全文です。この文章を参考に後の語群の語句をすべて用いて、きみが考える「プレスリリースにおける『5W1H』と『YTT』の大切さ」を、百字程度で述べなさい。（ただし、指定された語句はどのような順序で用いてもかまわないものとする）

・YTT ・PR ・情報の物語 ・メディア ・文字情報の基本 ・5W1H ・商品価値

次の文章を読んであとの設問に答えなさい。

【「二」までのお話】

アナグマはかしくくて、いつも森のみんなにたよりにさせています。困っている友だちはだれでも、きつと助けあげるので、たいへんな物知りで、自分の年だと死ぬのが、そう遠くないことも知っていました。丘でかけっこをして遊ぶモグラとカエルの姿を見て、幸せな気分が、家に帰ってきました。月におやすみをいって、カイテンをしめました。

夕ごはんをおえて、つくえにむかい、手紙を書きました。ゆりいすをだんろのそばに引きよせて、静かにゆらしているうちに、アナグマは、ぐっすり、ねいってしまいました。そして、ふしぎなでも、すばらしいゆめを見たのです。

おどろいたことに、アナグマは走っているのです。目の前には、どこまでもつづく長いトンネル。足はしつかりとして力強く、トンネルを行けば行くほど、だんだんはやくはれます。とうとう、ふつと地めんから、うきあがったような気がしました。まるで、からだから、なくなってしまったようなのです。アナグマは、すっかり、自由になったと感じました。

つぎの日の朝、アナグマの友だちは、みんなしんぱいしてあつまりました。アナグマが、いつものように、おはようをいにくてくれないからです。キツネが悲しい知らせをつたえました。アナグマが死んでしまったのです。そして、アナグマの手紙を、みんなに読んでくれました。

①長いトンネルのむこうに行くよ さようなら

アナグマより

森のみんなは、アナグマをととても愛していましたから、悲しまないものはいませんでした。②なかでもモグラは、やりきれないほど悲しくなりました。

ベッドの中で、モグラはアナグマのことばかり考えていました。なみだは、あとからあとからほおをつたい、毛布をぐっしよりぬらします。その夜、雪がふりました。冬がはじまったのです。これからのさむい季節、みんなをあたたかく、まもってくれる家の上にも、雪はふりつりました。

雪は地上を、すっかりおおいました。けれども、心の中の悲しみを、おおいかくしてはくれません。アナグマは、いつでも、そばにいてくれたのに……③みんなは、今どうしていいのかわからず、とほうに泣いていました。アナグマは、悲しまないことと、春がきて、外に出られるようにになると、みんな、たがいに歩き来しては、アナグマの思い出を、語りあいました。

モグラは、ハサミをつかうのがじょうずです。いちまいの紙から、手をつないだモグラが、切りぬけます。切りぬき方は、アナグマが教えてくれたものでした。はじめるうち、なかなか、紙のモグラはつながらず、ばらばらになってしまいました。でも、しまいに、しつかりと手をつないだ、モグラのくさりも、切りぬけたのです。その時のうれしさは、今でも、わすれられない思い出です。

カエルはスケートがとくいです。スケートを、はじめアナグマにならった時のことを話しました。アナグマは、カエルがひとり、りっぱにすべれるようになるまで、ずっとやさしく、そばについてくれたのです。

キツネは、子どものころ、アナグマに教えてもらって、ネクタイがむすべなかつたことを思い出しました。キツネは今、どんなむすび方だつてできますし、自分で考えだしたむすび方もあるんです。そしていつも、とて

もすてきにネクタイをむすんでいます。みんなだれにも、なにかしら、アナグマの思い出がありました。アナグマは、ひとりひとりに、別れたあとでも、たからものとなるような、ちえやくふうを残してくれたのです。みんなはそれで、たがいに助けあうことができました。

さいごの雪がきえたころ、アナグマがのこしてくれたものの④ゆたかさで、みんなの悲しみも、きえていきましました。アナグマの話が出るたびに、だれかがいつも、楽しい思い出を、話すことができるようになったのです。あるあたたかい春の日に、モグラは、いつかカエルと、かけっこをした丘に、登りました。モグラは、アナグマが残してくれた、おくりもののおれいがいいたくなりました。「ありがとう、アナグマさん。」⑤モグラは、なんだから、そばでアナグマが、聞いていてくれるような気がしました。

『わすれられないおくりもの』スーザン・バーレイ作

※作問の都合上、省略・改編した箇所があります。

《設問》

※すべての問の制限字数には句読点・符号を含むものとする。

問一 この文章から読み取れる「アナグマ」の性格を三十五字以内で簡潔に書きなさい。

問二 線部①「長いトンネルのむこう」とありますが、どこのことだと考えられますか。漢字二字で答えなさい。

問三 線部②「なかでもモグラは、やりきれないほど悲しくなりました」とありますが、なぜですか。アナグマとモグラの関係を考えて、その理由を三十字以内で簡潔に説明しなさい。

問四 線部③「みんなは、今どうしていいかわからず、とほうに泣いていました」とありますが、なぜですか。森のみんなの気持ちを考えて、その理由を三十字以内で簡潔に説明しなさい。

問五 線部④「ゆたかさ」とありますが、それは、どんなものですか。また、それがあつたことで森のみんなは、どうすることができていますか。文中の語句を用いて、三十字以内で簡潔に説明しなさい。

問六 線部⑤「モグラは、なんだか、そばでアナグマが、聞いていてくれるような気がしました」とありますが、この時、モグラはどんな気持ちでしたか。三十字以内で簡潔に説明しなさい。